

パブリックコメントのその他の意見一覧(21件)

No.	ご意見のタイトル(項目、訂正箇所等)	御意見の内容	対応区分	回答及び対応(市の考え方)
1	第3章2 2 障がい児・者、要介護者、妊産婦など特別な配慮が必要な人に対する取組	歯と口の健康センターに通われていた方が、センターから地域の歯科医療機関への移行を提案されたと相談を受けたことがあります。情報提供のため、登録医のことをお伝えしていますが、歯科医院のHPなどがなく必要な情報が得られないので悩みました。HPを作りにも費用が掛かるとは思いますが、働きかけてくださると幸いです。登録医であっても、事前の打ち合わせが上手くいかなかったのか、健常者と障害者では対応の差があるのか、せっかく行ったのにショックを受けて帰って来た保護者の方もいました。自閉症の方は特に歯科受診へのハードルは高いと思います。どうすれば本人が受け入れてくれるのか、好事例などがあればぜひ勉強したいなと思います。	C:今後の取組の参考とする	静岡市障害者歯科保健センターでは、障がいのある市民が安心して歯科治療を受けられるよう、地域の歯科医療機関等と連携し、市民の方々の受診環境の整備等に取り組んでいます。その一環として、市では障害者歯科登録医制度を設け、登録医の在籍する市内歯科医療機関の一覧を公表している他、登録医を対象とした研修会等を行っています。今後、市民の方々にご利用いただきやすい情報発信、登録医研修会の内容充実等を検討していますので、参考とさせていただきます。
2	障がい者への取組	障がい者対応をする歯科の公表に、その歯科がどういった取組等をしているかがわかるようにしてもらえると選択しやすいと思う。	C:今後の取組の参考とする	障害者歯科登録医に関する情報を整理し、市民の方々にご利用いただきやすい情報発信に取り組めます。
3	障がい児・者への治療について	息子は知的障害と自閉症があるため、定期通院しています。最初に通っていた町の歯医者さんには「動いてしまうのでうちではできない」と言われ、清水に新しくできた障害のある子ども通える歯科医に変更しました。家の近くにある町の歯医者さんの理解がもっと進み、たとえば、絵カードによる治療の説明や、慣れるまで何度も試すことができれば、いいなと思います。また、虫歯になってしまうと全身麻酔が必要になりますが、先日の大府堺市の歯科診療所で、特別支援学校に通う17歳の男子生徒が全身麻酔で治療中に低酸素状態に陥り死亡した事故もあり、そういうニュースをみると他人事ではなくとても怖いです。親にとっては全身麻酔はとても怖いことですが、医師にとっては日常で気軽に使うような感じらしく、説明もあっさりで、すぐに返事をしなくては行けなくて、そういう親と医師の意識の違いが、課題ではないかと思っています。	D: その他要望、感想等	障がいのある市民が安全に安心して歯科治療を受けられるよう、地域の歯科医療機関等と連携し、市民に寄り添った受診環境の整備等に取り組んでいます。市では障害者歯科登録医制度を設け、登録医の在籍する市内歯科医療機関の一覧を公表している他、登録医を対象とした研修会等を行っています。今後、市民の方々にご利用いただきやすい情報発信、登録医研修会の内容充実等を検討していますので、安心して受診できる環境整備の参考とさせていただきます。
4	○丁寧な歯医者さんで、どうしたら、虫歯にならないか等をちゃんと説明してくれる。そういうことが診療報酬につながるのか知らないがどこでもやってくれると良いと思う	○10に書いたことは障害者に対しても同じくしてほしい ○障害者も診れる地域の歯医者を増やしてほしい→歯医者さん対象に研修？講座を開く、こうすればスムーズに治療ができますよ、的なこと ○学校、保護者もまずは虫歯にしない努力、顔や歯に触られることに慣れる訓練をするべき。綿やガーゼで口の中をお掃除することを続けたら校医の診察を羽交い締めにしなくても受けるかができるようになった子がいた。最初は手を噛まれたけど。	B:計画に登載済	障がいのある市民が住み慣れた地域でかかりつけ歯科医を持ち、適切な時期に安全・安心な歯科治療を受けることができるよう地域の歯科医療従事者を対象とした研修会を行っております。また、特別支援学校に障害者歯科保健センターの職員を派遣し、保護者や支援者に対して、歯みがき支援等の歯科保健活動を行っております。障がいのある市民の歯と口の健康推進のため、引き続き各種事業を実施していきます。
5	予約が取りづらい	定期検診については2ヶ月おきに通っているため問題ないが、虫歯の治療をして欲しい時に次の予約が1ヶ月先になる歯科医院が複数あった。虫歯が複数ある場合、早い段階ですべての治療を終わらせてほしいため予約を取りやすくしてほしい。	D: その他要望、感想等	いただいたご意見を歯科医師会(地域の歯科医療機関)にも共有いたします。
6	静岡市歯と口腔の健康づくり推進計画 成人期 計画策定後の取り組みについて意見	トリプル健診(個別)を受診し現在歯科医院にて歯周病から歯を守るためのケアを受けています。医療機関に予約の際歯ピカ健診については周知されていましたがトリプル健診(個別)については周知啓発されていないように感じました。それから特定健康診査の受診率にもいえる事ですが、個別に予約を取って受診ということが重荷になっていると思います。40代50代は子どもの進学の手配や親の介護が始まる年代でもあり、自分のことよりも家族優先になります。	C:今後の取組の参考とする	トリプル健診(個別)については、毎年度、歯ピカ検診同様、実施医療機関に周知をしておりますが、上手く伝わっていなかった部分があるかと存じますので今一度、周知徹底を図ります。成人期はライフステージの変化が大きく、お忙しい時期だと思いますので、各種健診を受診するハードルをできるだけ下げられるよう今後も環境整備に努めていきます。
7	障がい歯科について	息子は障害があり、B型事業所に通っている。事業所に歯科検診や歯磨き指導に来ていただけるのでとても助かります。今後も続けていただけるようお願いいたします。障がい者歯科保健センターの受診者が多いのはわかりますが、体調不良などで一回お休みしてしまうと次の受診までにまた3ヶ月かかり、結局半年空いてしまうことになってしまいます。できるだけ歯科医師2名体制を続けてください。よろしくお願いたします。	D: その他要望、感想等	障害者歯科保健センターの予約が取りづらい状況にあり、ご迷惑をおかけし申し訳ございません。適切な時期に適切で安全・安心な歯科治療を受けることができるようセンター内の体制整備を図るとともに地域の歯科医療機関との連携を深めて改善していきます。
8	基本方針2 障がい児・者、要介護者、妊産婦など特別な配慮が必要な人に対する取組 障害者歯科保健センターの初診予約平均待ち日数、障がい児・者の全身麻酔下 歯科治療平均待ち日数	障害者歯科保健センターの 初診予約平均待ち日数、障がい児・者の全身麻酔下歯科治療平均待ち日数の目標が、どちらも「減少」となっていますが、どの程度の減少を目指しているのか明確にして頂けるとわかりやすいです。特別支援学校に通う生徒数が過去最多という報道がありました。静岡市内にある県立特別支援学校に通う児童生徒は多くが静岡市民だと思います。歯科受診が苦手な方が多い中、記載の対応策だけでなく、現在ある障害者歯科保健センター1か所だけでなく、各区に1か所設置するなどの対策をお願いしたいです。予約待ちの日数、全身麻酔下歯科治療平均待ち日数はあまりに長すぎだと思います。(わが子は、知的障がい者で、歯科受診は苦手でしたが、障害者歯科保健センターで少しずつ慣らしていただき、診察台に座って口を開けられるようになりました。また、紹介いただいた済生会口腔外科で、部分麻酔で親不知を2本抜歯することができました。これも、少しずつ本人がなれるように配慮をいただいたお蔭だと思います。)	A:計画に反映させる	障害者歯科保健センターの初診予約平均待ち日数と全身麻酔下歯科治療平均待ち日数の数値を記載いたします。障がいのある市民が住み慣れた地域でかかりつけ歯科医を持ち、障害者歯科保健センターと地域の歯科医療機関との連携の強化に取組み、センターの増設が無くとも適切な時期に適切で安全・安心な歯科治療を受けることができる環境整備に努めていきます。

パブリックコメントのその他の意見一覧(21件)

No.	ご意見のタイトル(項目、訂正箇所等)	御意見の内容	対応区分	回答及び対応(市の考え方)
9	概要版	1)Word資料には記載されているのですが、令和3年から6年計画で、令和5年度に中間評価を行うことをどこかに明記した方がわかりやすいと思います。 2)アウトカムという言葉は、令和7年度の目標の方が一般の方にはわかりやすいと思います。 3)グラフのオレンジの折れ線は、「虫歯のない1.6歳の割合」でしょうか？ 4)歯の健康教育を行っている学校の割合だけ、R7の数値目標が記載されていません。 5)最終目標値は、令和8年度でしょうか？具体的に書いた方がわかりやすいように思います。	A:計画に反映させる	今回の概要版は、市民の皆様からご意見をいただくにあたり、ポイントをまとめたパブリックコメント用の概要資料となります。今後いただいたご意見をもとに概要版を作成しますので、その際は以下のとおり反映いたします。 1)令和5年度に中間評価・中間見直しを行うことを明記します。 2)アウトカムという言葉は使用せず、「令和7年度の目標」と記載します。 3)グラフのオレンジの折れ線は、「むし歯のない1歳6か月児の割合」を示しておりましたが、記載が抜けておりましたので、概要版に掲載の際は記載します。 4)小学校は全校を目標としているため、数値を記載しておりませんでした。中学校・高等学校に表記を揃え、数値を記載します。 5)令和8年度に最終評価を行うにあたり、令和7年度の数値が最終目標値となりますので、年度を明記します。
10		なかなか希望通りの予約が取りづらいです	D: その他要望、感想等	いただいたご意見を歯科医師会(地域の歯科医療機関)にも共有します。
11		自分の歯を保つためにフロスや歯間ブラシを用いて毎日ケアしています。3カ月に1度は歯科で定期検診とクリーニングをしています。今後も続けていきたいです。	D: その他要望、感想等	毎日のご自身でのケアや3か月ごとの定期歯科健診など素晴らしい取組と思います。今後も是非続けてください。
12		自分だけの歯みがきでは、口腔内の清潔を保つのは難しいため、かかりつけ歯科医をもち定期的にチェックをして頂くことは大切だと思います。高齢者、障害者だけでなく、どの年代の方も定期的に歯科受診し、いつまでも自分の歯を大切にできるよう、声かけもしていく必要があると思います。	D: その他要望、感想等	ご自身のケアだけでは、口腔衛生状態を保つことに限界があるため、定期的な歯科健診と歯科専門職によるクリーニングを受けることが大切です。乳幼児から高齢期まで年代を問わず、また、障がいがある方も寝たきりの方でも、定期的に歯科健診を受けることの大切さを引き続き周知啓発していきます。
13	歯と口の健康づくり	生活習慣についての歯と口に対する影響などを詳しく説明した上で、健康に向けた取り組みを進めてほしいと思います。	C:今後の取組の参考とする	なぜ歯と口の健康が大切なのか、生活習慣がどのように影響するのか、根拠をわかりやすく示した上で理解してもらえるような取組を進めていきます。
14		歯の治療は「痛い」イメージが強く受診しにくいものですが、小さい時から定期受診の習慣をつけ、治療の必要のない歯を維持することが大切と思われま。障害を持つ方にも受診の習慣化を図っていただいた障害者歯科センターのとくみはすばらしいと思ひ、感謝しています。	D: その他要望、感想等	子どもの頃から健康的な生活習慣を身につけ、定期的に歯科を受診し続けることが、生涯にわたり美味しく楽しく安全に食べることに繋がると考えています。歯科医院を「痛い、怖いところ」から「歯や口を綺麗にしてくれるところ」「むし歯や歯周病にならないよう予防してくれるところ」というイメージに変え、年齢や障がいの有無を問わずだれもがかかりつけ歯科医を持ち、定期的に受診していただけるよう引き続き地域の歯科医院との連携を深めていきます。
15		障害者歯科センターの取り組みのおかげで、障害のある我が子に定期受診の習慣が付き、よい結果につながっています。食べることは何よりの楽しみです。自分では上手にハミガキできないので、定期的な歯のお掃除はかせません。	D: その他要望、感想等	障がいのある市民が定期的に歯科を受診し、お口の健康を維持していただけるよう引き続き周知啓発や環境整備に努めていきます。
16	障害を持っている方たちへの治療、安全、安心を感じられる接し方	一昔前の歯医者さんは「痛い、怖い」が、まず頭に浮かぶイメージがあったが、最近ではそのようなイメージは払拭され、一般の方はまず行きたくない人はいないであろう。しかし、まだ障害を持つ人やその家庭では歯医者さんはなんとなく怖い、痛いのはやだなどという意識が残っていると思われる。特に、障害を持つ人たちは自分の歯の状態を理解できないことが多いので歯の重要さ治療のやり方などをやさしく、一つずつわかるように説明できる環境作りが重要だと思う。	D: その他要望、感想等	障がいのある市民が住み慣れた地域で安心して受診のできるかかりつけ歯科医を持てるよう、引き続き地域の歯科医療従事者に対する研修会等の実施や、特別支援学校・障害福祉サービス事業所・放課後等デイサービス事業所等での周知啓発に努め、環境整備に取組んでいきます。
17		実際望んでいることで有っても行動が可能になることはばかりではなく、それらが蓄積されてゆくと望むことすらあきらめてしまうことになってしまっている。受け入れ体制に対して、こちら側(患者側)から意見できる立場にないと思ってしまう	D: その他要望、感想等	ご意見ありがとうございます。
18	誰もが受診しやすい歯科が増えてほしい	障がいのある人(知的、発達障害、身体、視覚、聴覚など)高齢の方、妊婦さんといろいろな方がスムーズに診察できる環境になるといいと思います。バリアフリー、ゆっくりとした口調での説明、言葉だけでなく、絵カード、身ぶり手ぶりなども使い、ていねいな説明があるとよりありがたいです。	B:計画に登載済	障がい者歯科臨床研修会(登録医研修会)を実施し、障がいのある市民が受診しやすくなるような工夫や配慮等について地域の歯科医療従事者に周知啓発しています。今後も引き続き研修会を実施するほか、誰もが安全・安心に歯科医療を受けることができるよう環境整備に努めていきます。
19	見直しの結果、新たに追加する指標	障がい者の全身麻酔下歯科治療平均待機日数 大阪府で発生した医療事故の対応を踏まえてシステム当の変更が生じることもあります。一旦留保することも必要かもしれません。	D: その他要望、感想等	本市では、全身麻酔下歯科治療を含め、安全・安心な歯科医療を提供できるよう庁内部署・関係機関等と連携して進めていきます。
20	基本方針2 障害児・者、要介護者、妊産婦など特別な配慮が必要な人に対する取組	出産後の特に子どもが小さい時期(0~3歳頃)は歯科医院に通うことがとても難しく、時間ができても後回しになりがちでした。予約がスムーズに取れるような取組をしていただければ大変助かります。	D: その他要望、感想等	いただいたご意見を歯科医師会(地域の歯科医療機関)にも共有いたします。
21	治療における保険適用拡充を求む	日本の歯科治療は患者への負担をかけないよう長期にわたっておこなわれるため、保険適応の治療だとそこそこの治療しかできない。歯科医師にとっても適応外治療の方がいいけど無理(費用面では)させられないと思うことがあるのではないのでしょうか。	D: その他要望、感想等	医療保険制度は厚生労働省の所管となるため、本計画に反映することはできませんが、治療の際に保険適応や適応外を問わず、どのような治療方法があるのか、そのメリットやデメリットを提示し、患者さん本人の意思で選択できることが理想だと思います。いただいたご意見を歯科医師会(地域の歯科医療機関)にも共有いたします。